

令和7年度第1回 協力病院連絡会議(報告)

日時:令和7年7月8日(火)
16:00-17:30 Zoom 会議

出席者:清水卒後臨床研修センター長
森医学教育部門長
上條臨床研修部門長
本藤臨床研修部門員
教育協力病院および臨床研修関連の42病院
外部委員:欠席



清水卒後臨床研修センター長の挨拶により開会し、森医学教育部門長が進行を担当した。

1. 令和6年度選択臨床実習学生による感想・・・資料No.1

資料に基づき説明があった。4月、5月の学生の感想を記載しており、「実習でもう少しやってみたかったこと、勉強したかったこと」の記載内容について、特に参考にしていただきたいと依頼があった。

2. クリニカルクラークシップⅡにおける担当症例数について・・・資料No.2

資料に基づき説明があった。外来担当数について、より人数を増加させていきたい旨依頼があった。

3. 令和7年度「150通りの選択肢から成る参加型臨床実習」コースについて・・・資料No.3-1.3-2.3-3

資料に基づき説明があった。昨年度のコースを参考にしながら、各協力病院の要望と、学内教室との調整でコースを作成している旨説明があり、資料の確認依頼があった。また、令和7年度は学生数が120名程度のため、約30コースは選ばれない旨説明があった。

4. 2024-2025年度 クリニカルクラークシップⅡ卒業生への面談結果・・・資料No.4

資料に基づき説明があった。質問②「学生生活は満足でしたか？」について9割が満足と回答していること、来年度以降も引き続き面談を行っていくことの説明があった。

5. 臨床実習に関する1診療科あたりの実習期間について・・・資料No.5

資料に基づき説明があった。グローバルスタンダードでは主要な診療科(内科、外科、精神科、総合診療科、産科婦人科、小児科、救急科)で1診療科あたり3週間以上実習を行うことを推奨しているのに対して、本学では2週間しか実習を行っていない学生が多くいる旨の説明があった。今後1年程度で見直していきたいため、各病院にも協力をお願いする旨の依頼があった。

6. 医学部医学科の基本理念について・・・資料No.6

資料に基づき説明があった。基本理念は据え置き、教育理念、コンピテンシーをより基本理念に沿った形に変更していくため、ないか要望等ありましたらご連絡いただきたい旨の依頼があった。

本会議に引き続き卒後臨床研修管理委員会を開催した後、参加した全病院からコメントをいただいた。挙げられた主な意見・要望は以下の通り。

- ・ 主要な診療科の受け入れを今後増加させていきたい。
- ・ 基本的に優秀な学生さんが多いがまれにカルテの書き方が気になる学生がいるので指導していただきたい。
- ・ 活気のある学生が実習で来てくれることで、病院の先生方も励みになっているので今後とも信州大学とうまく連携していきたい。
- ・ モチベーションが低い学生もいるが、真面目な学生も多いと感じる。
- ・ 150通りで実習背を派遣してもらって、病院の知名度上昇や院内に活気が出て良いと感じている。

清水卒後臨床研修センター長の閉会の挨拶を以って閉会した。

以上